

令和5年度青森県発達障害者支援地域協議会  
(令和6年1月22日)

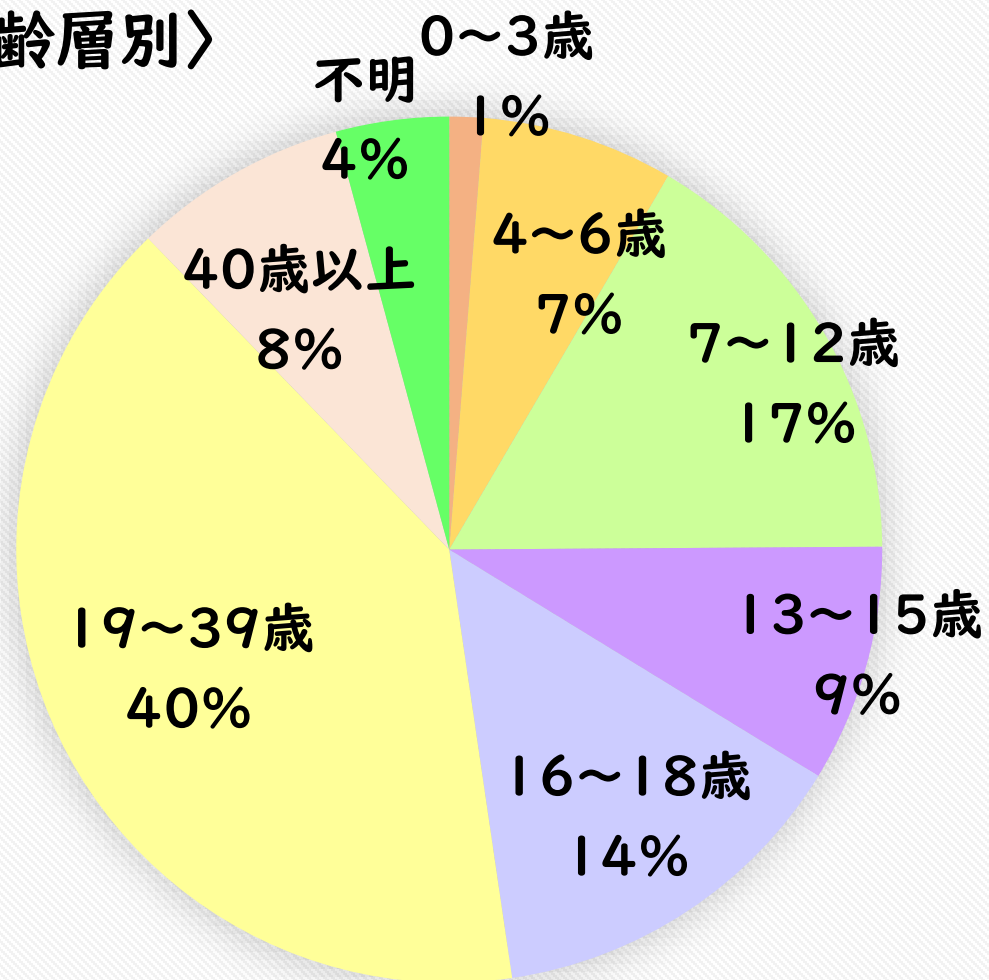
青森県発達障害者支援センター「Doors」(県南地域)  
取組状況及び今後の取組の方向性

# 運営事業実施状況（4月～11月）

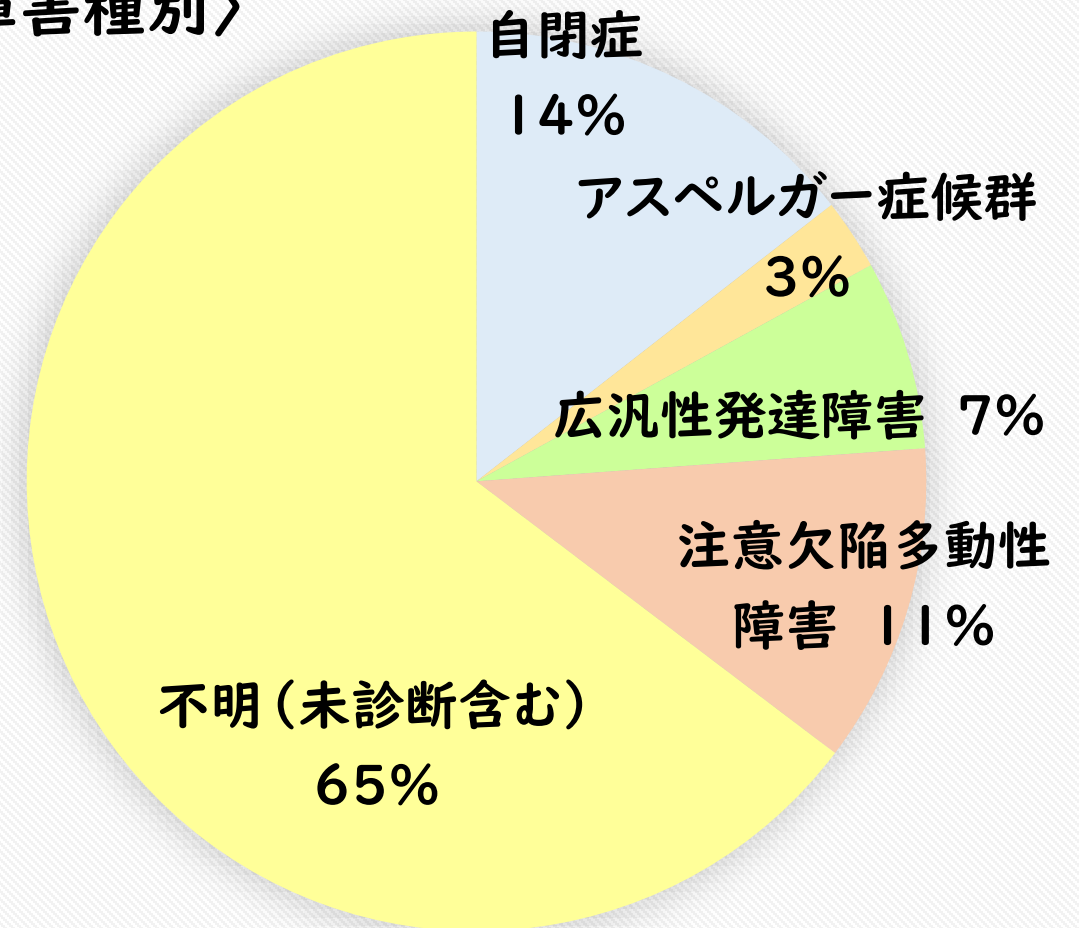
発達支援	実支援人数	220人
	延支援件数	366件
就労支援	実支援人数	17人
	延支援件数	34件
連絡協議会の開催状況	実施回数	1回
他の協議会への参加状況	参加回数	6回

# 年齢層別・障害種別の割合

〈年齢層別〉



〈障害種別〉



# 相談内容別の割合



# Doors連絡協議会

**【開催日時】**令和6年1月中

**【開催方法】**オンライン（Zoom）

**【内 容】**八戸市内で発達障害を診れる医師が不足し、一部の小児科の予約が殺到している実情を踏まえ、センターが担える役割や連携のしくみについて検討

**【参加機関】**・八戸市内の小児科医

（すわクリニック・とみもと小児科クリニック）

・県障害福祉課

# 運営事業の評価と今後の方向性について

県南地域で児の発達障害について診れる医師が不足している中、八戸市の療育利用には医師の診断書及び意見書が必須。現状として一部の医療機関に予約が殺到し待機期間が延びている。また一方では「発達障害についてわからない」というかかりつけ医が療育利用のための意見書を書いている状況。

⇒待機者を減らして受診をスムーズにするため、Doorsで受診前のインテーク及びアセスメントツールを活用したアセスメントを行い、ニーズ整理をしたうえで必要に応じて医療機関に繋ぐしくみを構築。まずは試行的に市内で発達障害について診れる医療機関を対象に実施し、将来的には他機関にその機能を引き継いでいく。

# 支援体制整備事業実施状況（4月～11月）

## 発達障害者支援地域連携強化事業

【内容】学校や保育園等の巡回相談及び各市町村にて子育てに関する相談等を実施

巡回相談（十和田市、七戸町、横浜町、五戸町、むつ市）	延支援件数	40件
事例検討会（五戸町、横浜町）	実施回数	2回

## 発達障害児者支援スキルアップ研修事業

【日時】令和5年7月1日（土）10:00～15:00 【場所】八戸市津波防災センター

【内容】発達障害と特性理解、保護者支援、子どもの行動から考える視点、「青森県子どもの発達支援ガイドブック」の活用ポイントについて等 【参加者数】60名

【対象】保健師、保育士、児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所の職員等

# 支援体制整備事業実施状況(4月～11月)

## 家族サポート応援事業

### (ア)ペアレントメンター研修

●養成【日時】令和5年10月5日(木)10:00～14:30(オンライン)【参加者】12名

【内容】ペアレントメンターについて・ペアレントメンター-R4年度活動報告・傾聴技法・傾聴のポイント

●フォローアップ【内容】傾聴技法・傾聴のポイント(動画視聴)【参加者】30名

### (イ)青年期等支援事業

●室内活動【イラスト交流会、クイズ・ゲーム交流会、ライフスキル勉強会等】(参加人数…54名)

●フリースペース【平日10:00～16:00※敷地内建物にて個別に開放】(利用人数…36名)

●就労体験【Doorsビル内の清掃(トイレ・相談室・玄関等)】(参加人数…82名)



# 支援体制整備事業の評価と今後の方向性について

<b>発達障害者支援地域連携強化事業</b>	現状、市町村の保健師が保育園巡回や個別相談に同席し、事後フォローを実施している。今後もこのかたちを継続しながらさらなる地域の支援力向上に繋げていければと考えている。
<b>発達障害児者支援スキルアップ研修事業</b>	保育園や療育施設の見立て力・支援力の向上に向け、より実践に繋げやすい内容を検討し、次年度以降も実施していく。
<b>家族サポート応援事業</b>	ペアレントメンターに関しては現在、青森県自閉症協会が事業運営を行っていることから、将来的に研修運営も実情に見合ったかたちで協会で行っていただけるか等、協会と検討していく。
	青年期支援事業に関しては対象者の入れ替わりもあり、ニーズの再整理が必要な状況。相談者の方がより主体的に活動していただけるかたちを検討していく。